

歯医者さん

こわくない

日本口腔衛生学会の認定を受け、歯の病気を予防に力を入れている歯科医の峰岡哲郎さん(58)が、山口市内に歯科診療所を開いた。口の中の健康を守る活動を通し、歯医者の怖いイメージの払拭をめざすという。

峰岡さんは愛媛県宇和島市出身。北九州市の九州歯科大学に進み、大学院修了後、本籍のある県内へ。山口市内の開業医の下で働いた後、昨年12月に診療所「みねおか歯科クリニック」を同市黒川に開設。同じく歯科医の妻崎さん(50)と2人で診療する。

峰岡さんが同学会の認定医となつたのはより3年前3月。同学会は歯科医として活躍一般社団法人で、認定には資格や試験の審査で合格することが必要で、全国には現在2万人の認定医がいるが、県内では峰岡さん1人という。

認定を受けると、歯の健康を守ったり、病気を予防したりして地

口腔衛生学会認定医が診療所



峰岡哲郎さんと妻崎さん＝山口市黒川

痛い、削る…虫歯予防でイメージ払拭

域に貢献する活動に取り組み。峰岡さんも昨夏、2、3歳の子とも24人に歯科医の治療を疑似体験してもらった。イベントを開くなどして

歯の病気を言えは、虫歯や歯周病だ。「口腔の「大疾患」とも言われ、虫歯は食べ物に含まれる糖をエサにする虫歯菌が出した酸で歯が溶けた状態。歯周病は歯周病菌が歯茎に入り込んで後歯が起きる状態のこと」を指す。

特に虫歯は、子どもがかかりやすい。生えたばかりの乳歯や永久歯は、はい菌に対する耐性が弱いからだ。進行すると、歯の深部にある神経にまで至り、うんでズキズキ痛む。そうなるのを歯を削らねばならず、歯医者への怖いイメージが定着する。すると、受診をためらいがちになり、重症化しやすくなってしまう。

そこで、峰岡さんは虫歯予防に向け、0、1歳の子どもを対象にした「呼ばろー！歯口クラブ」をつくり、口の中の写真を撮ったり、検査したりする取り組みを始めた。通い続けた子どもにはプレゼントも贈り、大学教授らによる歯磨き公開講座も企画する予定だ。

患者以外でも気軽に立ち寄ってもらえるよう診療所内には歯の健康グッズをそろえた売店を置き、子どもと連れの人向けに育児家や遊び場を設けた。ドリルの回る音が聞けない個室も別に設けた。

峰岡さんは「歯のことが悪く、どこを治すのかを治療の前に知ってもらいたいことが大事。一回いっただけでもちえれば、怖い場所でないことも分かってもらえるはず」と話している。問い合わせは、同診療所(0836-9333・1881)。